

ゲートキーパー養成研修

- ★ 日 時 令和2年2月6日および2月13日 10時から11時30分
- ★ 場 所 日進市中央福祉センター 2階 視聴覚研修室
- ★ 講 師 ひいりんぐ工房 とぼす 臨床心理士 西野 敏夫氏
- ★ 対 象 市内の行政機関や福祉事業所をはじめとした、
- ★ 内 容 自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる
(=ゲートキーパー)に関する研修
- ★ 受講者 25名



- ・自殺に関連する統計について(男女比、高齢者、子ども、依存症、PTSD等)
- ・気づくことの難しさ(なかなか気づけない)
- ・自殺リスクの高い人について
(軽度知的障害のある人、発達障害のある人、PTSDを抱える人等は傷ついてきた人たちであり、リスクが高い)
- ・小さなSOSをキャッチすること(3回SOSを出しても伝わらなかったら4回目は出せなくなる。)

◎講師の西野氏は、精神保健福祉の現場で様々な問題を抱える方の援助をしている。わかりやすく、リアルな事例を聴くことができ、日々様々な障害や問題に直面している人を支援している参加者が、現場で生かすことのできる話をたくさん聞かせていただきました。

特に、軽度知的障害や発達障害のある方は自分の思いをうまく説明できなかったり、説明を受けても理解できていないこともあり、たくさん傷ついてきている可能性があることがある、というお話は、福祉の現場に立つときに絶対に忘れてはいけないことであると感じました。

専門職として、また窓口として働く時には、1人の問題を2人、3人…なるべくたくさんの人で支えていくことが大切だと、改めて考えるきっかけになりました。

